

【特集】第32回国際労働問題シンポジウム： ILO（国際労働機関）と日本：100年の歴史 と仕事の未来：特集にあたって

FUJIWARA, Chisa / 藤原, 千沙

(出版者 / Publisher)

法政大学大原社会問題研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

大原社会問題研究所雑誌 / Journal of Ohara Institute for Social Research

(巻 / Volume)

743・744

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

2

(発行年 / Year)

2020-10-01

【特集】 第 32 回国際労働問題シンポジウム

ILO（国際労働機関）と日本

——100 年の歴史と仕事の未来

特集にあたって

本特集は、第 32 回国際労働問題シンポジウムの記録である。1987 年から毎年行っている本シンポジウムは、原則として、その年の ILO 総会の議題のなかから、日本との関係でとくに重要な議題をテーマとして取り上げてきた。第 32 回にあたる 2019 年は、ILO 創立 100 年、大原社会問題研究所創立 100 年の記念すべき年にあたることから、例年とは趣向を変え、ILO と日本の 100 年の歴史を振り返り、仕事の未来を展望するシンポジウムとした。場所も東京から離れて、大原社会問題研究所の創立の地である大阪にて、開館 101 周年を迎えた大阪市中央公会堂を会場に開催した。

例年のシンポジウムでは、厚生労働省、連合、経団連に、政労使の立場からのご報告を依頼している。今回は大阪労働局、連合大阪、関西経済連合会に広報その他でお世話になり、大阪府社会保険労務士会にも多大なご協力をいただいた。また本誌で記録は掲載していないが、エル・ライブラリー（大阪産業労働資料館）の谷合佳代子館長には、大阪市中央公会堂の会場紹介として、中之島と大阪の社会運動の歴史をご紹介いただいた。129 人の参加者とともに両機関の創立 100 周年を記念する充実したシンポジウムを開催できたことに対して、すべての関係者の方々に心よりお礼を申し上げたい。

（藤原千沙）

第 32 回国際労働問題シンポジウム

ILO（国際労働機関）と日本——100 年の歴史と仕事の未来

主催 法政大学大原社会問題研究所／ILO 駐日事務所
後援 日本 ILO 協議会
日時 2019 年 11 月 11 日（月）13 時 30 分～16 時 30 分
会場 大阪市中央公会堂 中集会室

プログラム

主催者代表挨拶 鈴木玲（法政大学大原社会問題研究所所長）
第 108 回 ILO 創設 100 周年記念総会について 田口晶子（ILO 駐日代表）
基調講演「ILO と日本」 吾郷真一（立命館大学衣笠総合研究機構教授／九州大学
名誉教授／ILO 条約勧告適用専門家委員会委員）
個別報告「ILO 第 1 号条約と労働時間問題」 石井聡（近畿大学経済学部教授）
「国際労働会議代表問題と大原社会問題研究所」 榎一江（法政大学大原社会問題研究所教授）
会場紹介「中之島から始まった大阪の社会運動」 谷合佳代子（エル・ライブラリー館長）
パネルディスカッション モデレーター：田口晶子（ILO 駐日代表）

（司会：藤原千沙（法政大学大原社会問題研究所教授））

（注）肩書は 2019 年 11 月現在

ILO・大原社会問題研究所 創立100周年記念

参加費
無料

第32回 国際労働問題シンポジウム

ILO (国際労働機関) と日本

—100年の歴史と仕事の未来

●主催：法政大学大原社会問題研究所／ILO駐日事務所 ●後援：日本ILO協議会

日時

2019年 **11月11日** (月)
13:30～16:30

会場／交通

大阪市中央公会堂 中集会室

地下鉄御堂筋線「淀屋橋」徒歩5分
地下鉄堺筋線「北浜」徒歩6分
京阪電鉄「なにわ橋」徒歩1分

ILOは、第一次世界大戦後の1919年、「世界の永続する平和は、社会正義を基礎としてのみ確立することができる」との信念のもとに誕生しました。政府・使用者・労働者の代表からなる三者構成の国際機関として、世界の人々の仕事と暮らしに大きな影響を与えています。

大原社会問題研究所は、ILOと同じ1919年に大阪で誕生し、1937年に東京に移転するまで、20年近く大阪で活動しました。初代所長の高野岩三郎は、第1回ILO総会の労働者代表をめぐる問題で東京大学を辞職した後、大阪で労働問題研究や労働者教育に携わりました。

2019年は両機関の創立100周年にあたります。第32回国際労働問題シンポジウムは、開館101周年を迎えた大阪市中央公会堂を会場に、ILOと日本の100年の歴史を振り返り、仕事の未来を展望します。



大阪市中央公会堂



中集会室

主催者挨拶

2019年第108回ILO総会について

基調講演

「ILOと日本」

吾郷真一 立命館大学衣笠総合研究機構教授／九州大学名誉教授／ILO条約勧告適用専門家委員会委員

個別報告

「ILO第1号条約と労働時間問題」

石井 聡 近畿大学経済学部教授

「国際労働会議代表問題と大原社会問題研究所」

榎 一江 法政大学大原社会問題研究所教授

パネル・ディスカッション

吾郷真一／石井 聡／榎 一江

モデレーター 田口晶子 (ILO駐日代表)

お申込み▶ 10月21日(月)までに「国際労働問題シンポジウム」と明記の上、下記いずれかにお申し込みください。

法政大学大原社会問題研究所

Faxかメールにて氏名、ご所属、連絡先をお知らせください。

Fax: 042-783-2311

E-mail: oharains@adm.hosei.ac.jp

OISR
since 1919



ILO駐日事務所

右コードのフォーマットに、氏名、ご所属、メールアドレスを送信してください。

HP: <http://www.ilo.org/tokyo/>

Twitter: @ILO_Tokyo

